

「北海道の鉄道の存続・再生を求める」 道民署名にご協力を！

2016年11月 JR北海道は道内鉄道の半分近くに当たる10路線13区間を「JR単独では維持困難」とし、自治体に事実上不可能な負担を求める「上下分離」や「バス転換」などに向けて協議したいと発表しました。

しかし、鉄道の存続をもとめる人々の願いは基本的人権である交通権を求めるものであると同時に、地域発展を目指す住民の意志を反映したものです。鉄道は自動車輸送で代替できるものではなく、その廃止は観光や農業などと結びついた地域の将来展望への手がかりを奪い、いつその過疎化をもたらし、ひいては札幌を含む北海道全体の衰退につながります。

高橋知事も参加する JR北海道再生推進会議が「1年以内」に期限を区切り鉄道存廃の結論をとする有志声明を行い、2月の北海道交通政策審議会では「維持困難路線のあり方」を含む北海道交通政策総合指針原案が明らかにされていますが、道民にひらかれた論議がなされないまま、結論を急ぐすすめ方は断じて容認できません。

道民署名をすすめる全道連絡会は道内の大学研究者がよびかけ人となって昨年秋に発足、署名は連合北海道、平和運動フォーラム、道労連、各地の「JR存続を求める会」など道内の広範な人びとの共同でとり組まれます。

「優先順位をつけるものではない」としながら実際には路線ごとに優劣をつけ、「自治体負担ありき」で地域に「結論」をせまる道答申の抜本的な見直しを含め、鉄道存続を知事に求めるとともに道民的な議論をよびかける署名として地域、学園、職場でのご協力をお願いします。

◎鉄道の存続は住民の道理ある願いであり、決して地域エゴではありません。

◎地域協議会に結論を急がせていますが、JR問題は各路線ごとに定められる性質のものではありません。全道民が参加する開かれた場で時間をかけて議論が尽くされるべきです。

◎JR北海道の危機の打開には、国が責任をもって対処すべきです。

以上の認識をすべての道民や諸団体が共有し、オール北海道の世論をまきおこして運動を進めることを呼びかける署名です。よろしくをお願いします。

記

① 署名期間：第1次集約を4月末とします。

② それぞれの団体、地域の全構成員のみなさん、ご家族のみなさん、地域での住民過半数のみなさんからの署名をお願いします。

③ 集まった署名はそれぞれ最寄りの団体や労組、地域の「鉄道存続をめざす会」、「北の鉄道存続を求める会」「全道連絡会」にお届け下さい。また署名に賛同・ご協力いただける団体は「北の鉄道存続を求める会」（下記）にお知らせ下さい。よろしくをお願いします。

以上

北の鉄道存続を求める会

【連絡先】札幌市白石区菊水5-1 第6尾崎ビル3F 道労連内 ☎011 (815) 8181 (820)3131